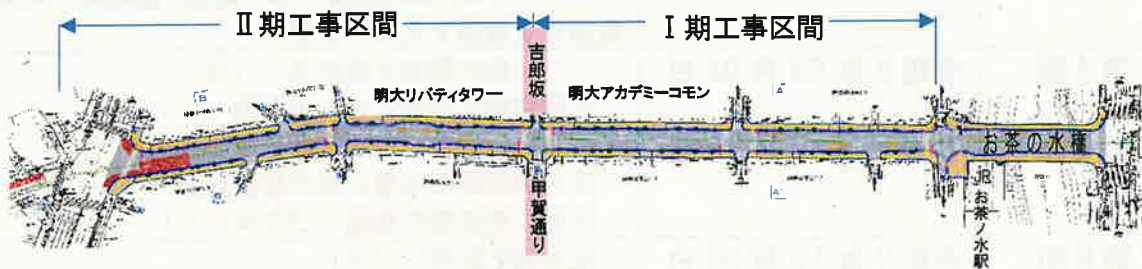


明大通りの整備について

1. 明大通り整備に関わるこれまでの経緯経過

平成28年08月22日	明大通りⅠ期工事開始
平成28年10月17日	陳情審査終了（陳情書3件、内1件は参考） 申し入れ事項あり
平成28年10月18日	Ⅰ期工事中止
平成29年08月31日	陳情審査終了（陳情書8件、内3件は参考） 申し入れ事項あり
平成29年09月27日	Ⅰ期工事再開
平成29年10月13日	陳情審査終了（陳情書4件、内2件は参考）
～平成29年12月07日	申し入れ事項あり
平成30年06月29日	Ⅰ期工事完了
平成30年08月21日	明大通りバリアフリー歩行空間の整備事業に関する説明会開催
平成30年11月09日	第38回神田駿河台地域まちづくり協議会へ報告 「沿道協議会を設置して、再度、街路樹や歩道拡幅について議論する」ことを報告し、了解を得る。
平成30年12月07日	陳情審査終了（陳情書5件）
平成31年02月06日	明大通り沿道協議会準備会を2回開催
～平成31年03月20日	
令和02年01月21日	明大通り沿道協議会を開催（第1回～第9回）
～令和03年09月03日	



2. 明大通り沿道協議会開催の経過等（別紙—1）

3. 今後のスケジュール

令和3年12月中旬	工事業者決定予定
令和3年12月下旬	整備工事開始準備
令和4年02月下旬	
～令和5年05月31日	工事期間

明大通り沿道協議会等開催の経過等

(設置目的)

明大通りのバリアフリー歩行空間整備を行うにあたり、沿道代表の方々が地域性や街並み、樹木の景観的な特徴、維持管理上の課題など道路整備について協議を行い、整備の推進を図ることを目的として設置した。

(協議会メンバー) 総数 24 名

(座長) 法政大学 福井教授

(沿道町会関係者) 駿河台西町会、小川町三丁目西町会 9 名

(沿道事業所) 明治大学、(公財)佐々木研究所、日本大学 4 名

(明大通りの整備に意見を持たれている方々) 6 名

(千代田区) 環境まちづくり部長

(アドバイザー) 千葉大学 藤井名誉教授

千葉大学 池邊大学院教授

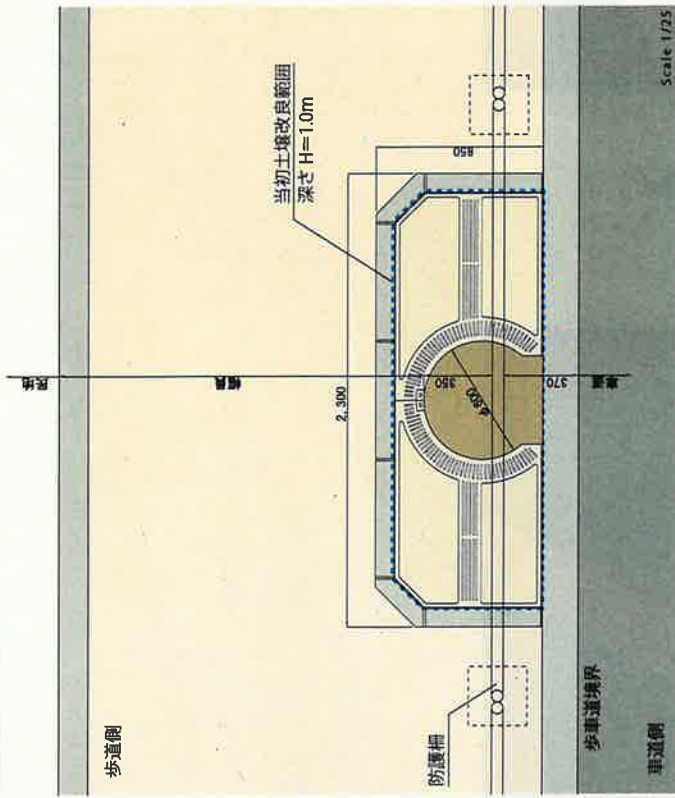
(株)戸田風景計画 大橋先生

(開催経緯)

開催回	開催日	主な決定事項
第 1 回	令和 2 年 01 月 21 日	・ 模型を使い議論を進める
第 2 回	令和 2 年 02 月 18 日	・ 本会での質問を基に議論を進める
第 3 回	令和 2 年 07 月 15 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 植樹ますの改良と客土範囲の拡大・・・(1) ・ 日大病院前の高木植栽は難しい ・ 冠水対策は適宜行う・・・(2) ・ 駿河台道灌道付近の横断歩道は当面設置せず、他の方法で対応 ・ 明大区間は既存街路樹を残した場合の検討を行う ・ バスベイは、現況位置では不適合。自転車、車の安全通行を確保するため必要
第 4 回	令和 2 年 09 月 04 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゾーン毎の整備を進める・・・(3) ・ 公開空地と歩道との一体利用
第 5 回	令和 2 年 10 月 19 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 街路樹に配慮した防護柵位置の採用・・・(1) ・ 日大側街路樹位置と低木配置計画・・・(4) ・ II 期工事区間の樹種(プラタナス)・・・(4)
第 6 回	令和 2 年 12 月 02 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 低木植栽計画・・・(4) ・ 苗圃からリバティータワー前に移植する街路樹について
第 7 回	令和 3 年 04 月 21 日	・ 街路樹の取扱いに関する技術的な内容は専門家の判断に任せる
第 8 回	令和 3 年 07 月 16 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 植栽計画案について、合意 ・ I 期区間①移植したプラタナス・・・(3) ・ I 期区間②一葉(桜)と駿河台匂を植樹・・・(3)
第 9 回	令和 3 年 09 月 03 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ パース図を確認し、植栽計画が合意される・・・(5) ・ 街路樹と街路灯の配置関係を調整・・・(4) ・ 整備後の維持管理イメージについて

(1) 植栽ますの改良について

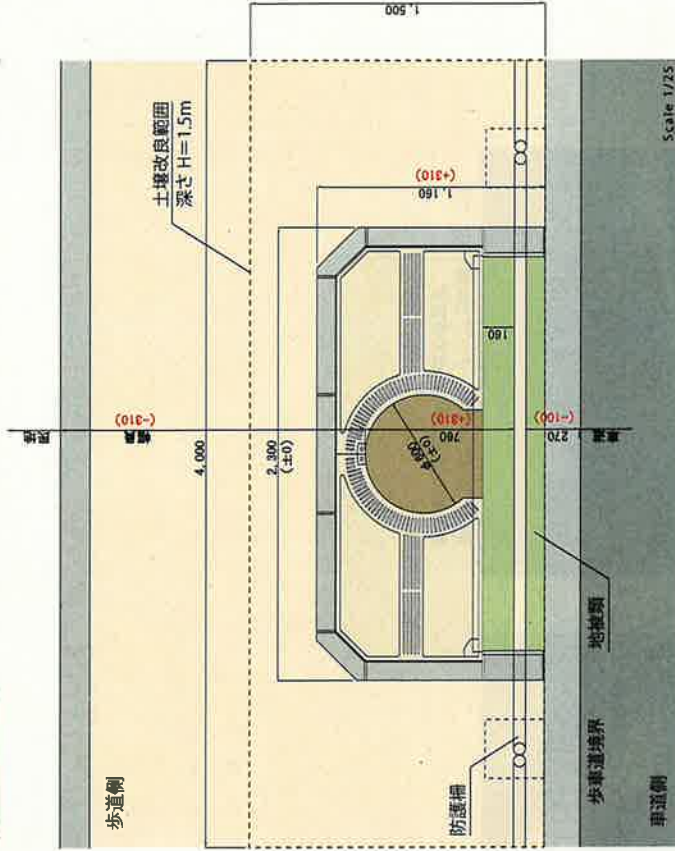
当初計画



<協議会の議論内容>

- ① 植栽ます開口部と防護柵が近いため、樹木が成長した際に干渉する恐れがある。
- ② 開口部が少なく、根へ水や酸素を供給しにくい。
- ③ 土壌改良範囲が狭いため、根上がりする可能性がある。

改良案



<改良案>

- ① 防護柵の基礎を改良し車道側へ10cm寄せ、ツリサークルから16cm離す。
- ② 植栽ますを大きくし、根へ水や酸素を供給し易く改良。
- ③ 防護柵下に、地被類などの緑を追加。
- ④ 土壌改良範囲を大きく広げ(9 m²)、根の成長を妨げない。
(既設の土壌と合わせ 12 m²)

(2)冠水対策について

現 況

<落葉による水たまりについて>

落葉などにより集水柵が塞がることで冠水するので対策をできないか。



計画案：冠水防止縁塊

<方針・回答>

二連集水柵や落葉が溜まっても雨水を処理できる集水柵を設置し、排水処理能力を高める工夫をします。



落ち葉やゴミが目詰まりしても
安定した排水能力を維持します



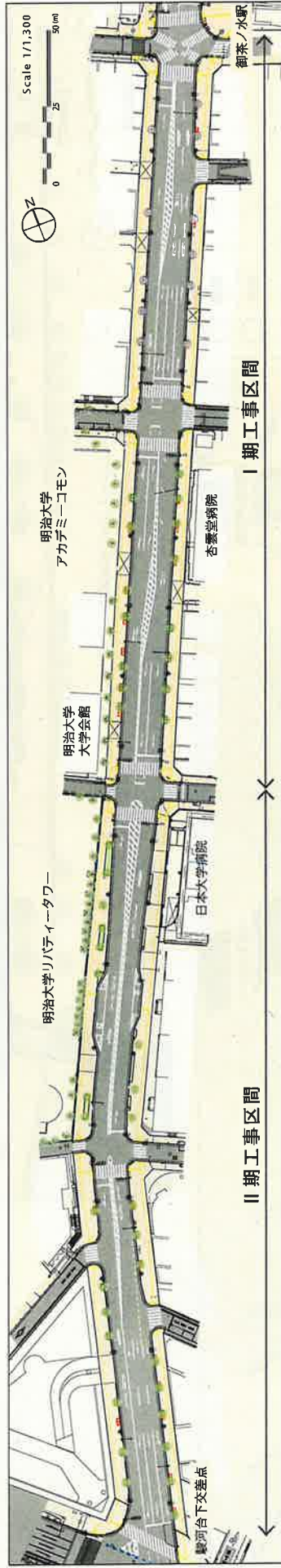
新聞や雑草等がグレーチング上に張り付いても
縁石部の排水孔から排水できます

(3) 計画方針及び計画内容

計画方針

- ① 既存プラタナスは、出来るだけ明大通り内へ移植・保全を行なう。
- ② Ⅰ期工事で移植し、苗圃で樹勢回復したプラタナスを再活用する。
- ③ 専門家の助言のもと、1本1本の樹勢や将来的な樹形を確認した上で移植の可否を決定する。
- ④ 花の咲く樹木を新植する区間を設ける。
- ⑤ 明大通りを以下4つのゾーンに分けて整備を行う。
- ⑥ 既設の低木（オオムラサキツツジ）の再利用を行う。

全体平面図



Ⅱ期工事①区間

Ⅰ既存のプラタナスを車道側植樹ますへ移植し保全する区間。

Ⅱ期工事②区間

Ⅰ公開空地の通行を前提に、既存のプラタナスを保全する区間。

Ⅰ期工事①区間

Ⅰ既存及び苗圃のプラタナスを移植し保全する区間。

Ⅰ期工事②区間

Ⅰ花の咲く樹木(桜)を植える区間。

一葉桜を主体とし、樹形が道路構造に適した駿河台句を1本植える。



一葉桜

サトザクラの代表的な品種。江戸時代以前からあり、新宿御苑にもある代表的な桜。
4月中旬から下旬にかけて開花する。



駿河台句

オオシマザクラ系の品種。江戸時代駿河台の武家屋敷に植えられていた桜。香りが強いことから命名された。4月下旬から5月上旬に開花する。

(4) 明大通りの植栽計画について(II期工事区間)

基本的な考え方

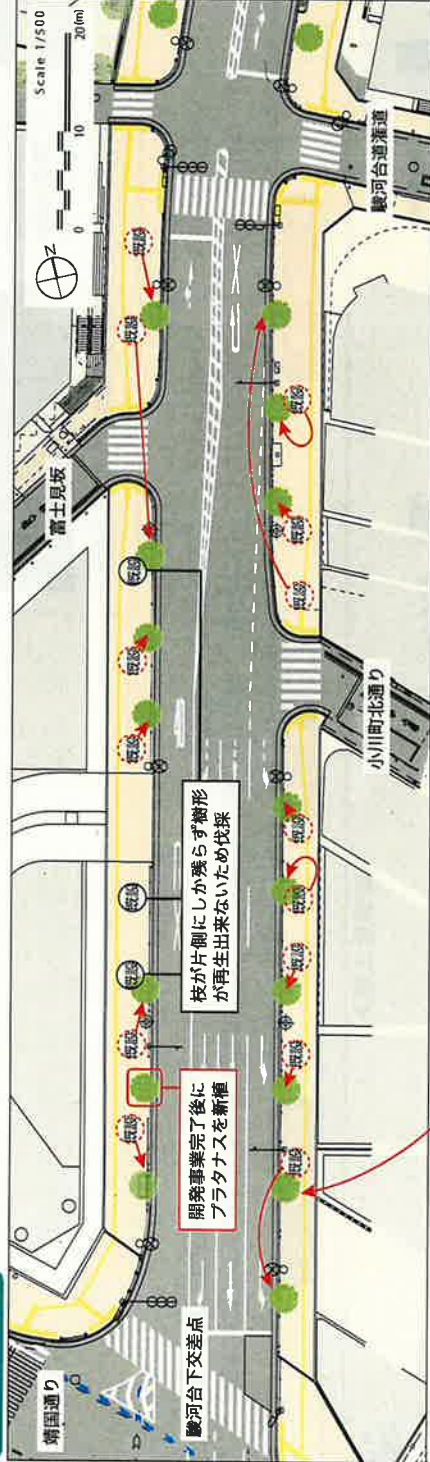
移植距離を短くするために近接する植樹ますへ移植し、樹木への負担を掛けないように配慮する。

全体平面図



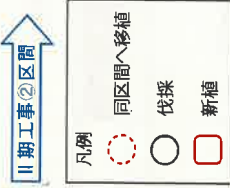
II期工事①区間

既存のプラタナスを車道側植樹ますへ移植し保全する区間



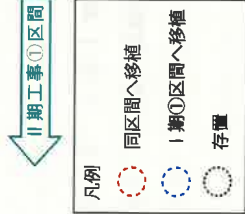
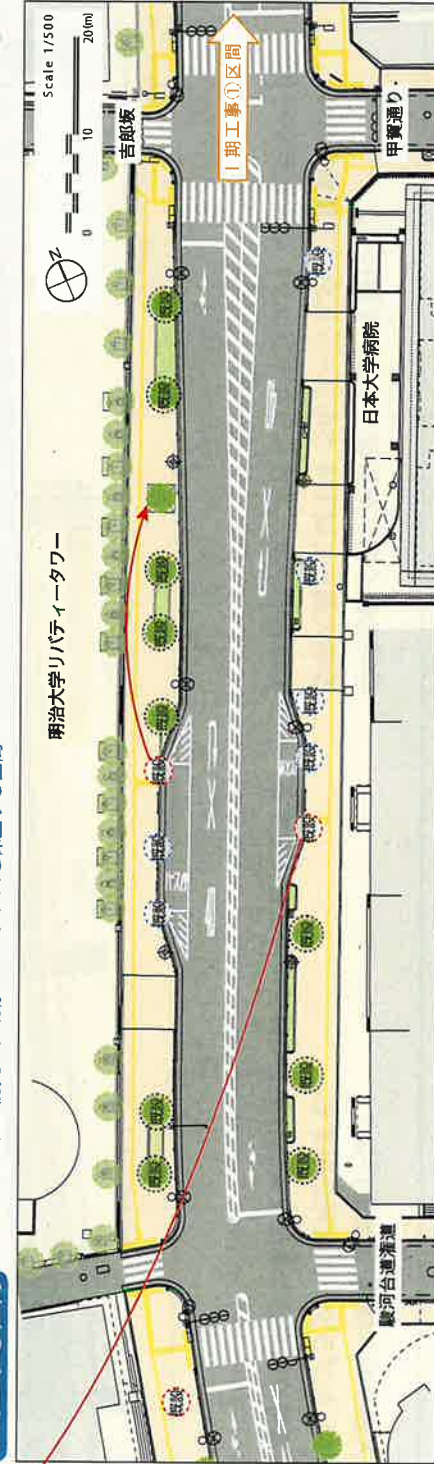
開券事業終了後にプラタナスを新植

枝が片側にしか残らず樹形が再生出来ないため伐採



II期工事②区間

公開空地の通行を前提に、既存のプラタナスを保全する区間



(4) 明大通りの植栽計画について(Ⅰ期工事区間)

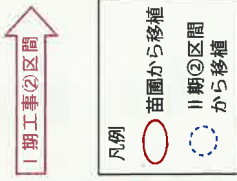
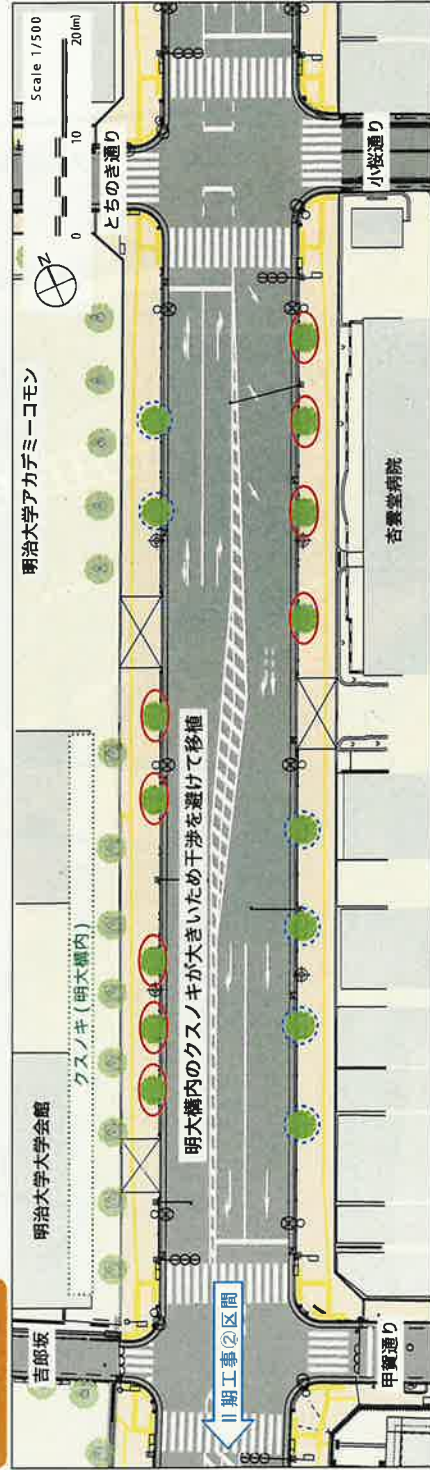
基本的な考え方

移植距離を短くするために近接する植樹ますへ移植し、樹木への負担を掛けないように配慮する。

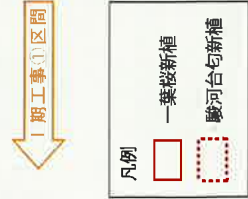
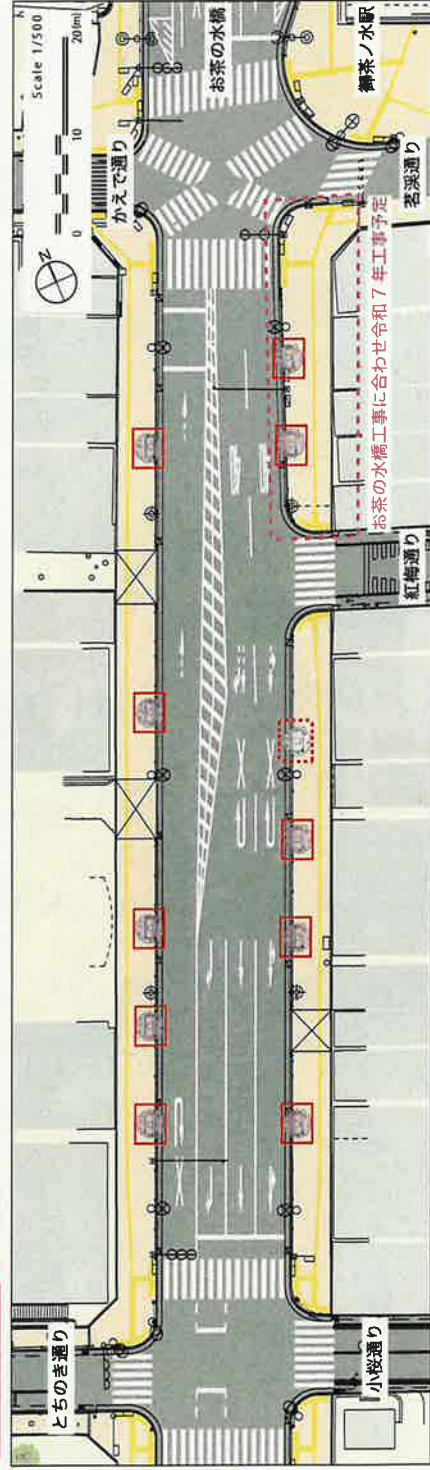
全体平面図



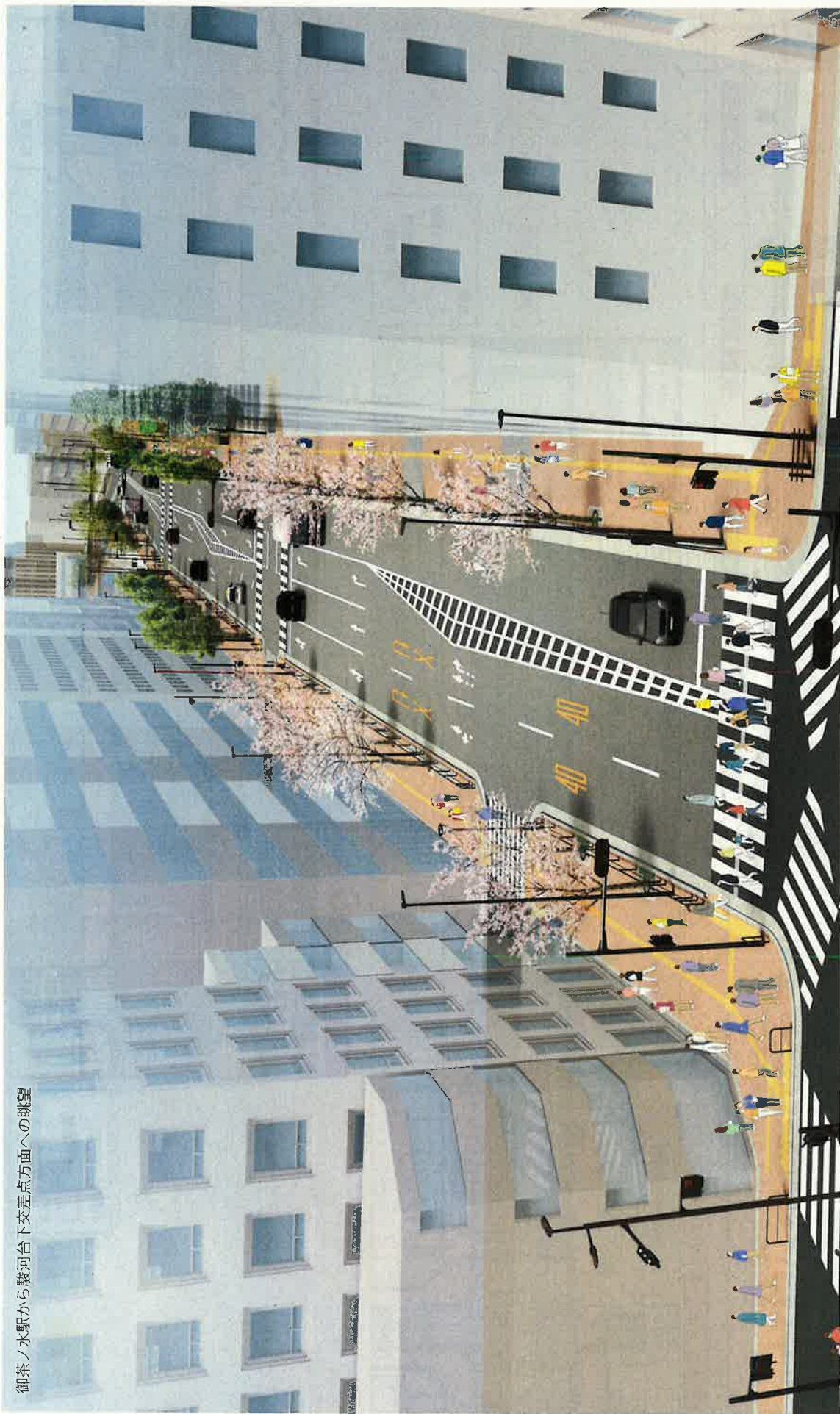
Ⅰ期工事①区間 既存及び苗圃のプラタナスを移植し保全する区間



Ⅰ期工事②区間 花の咲く樹木(桜)を植える区間



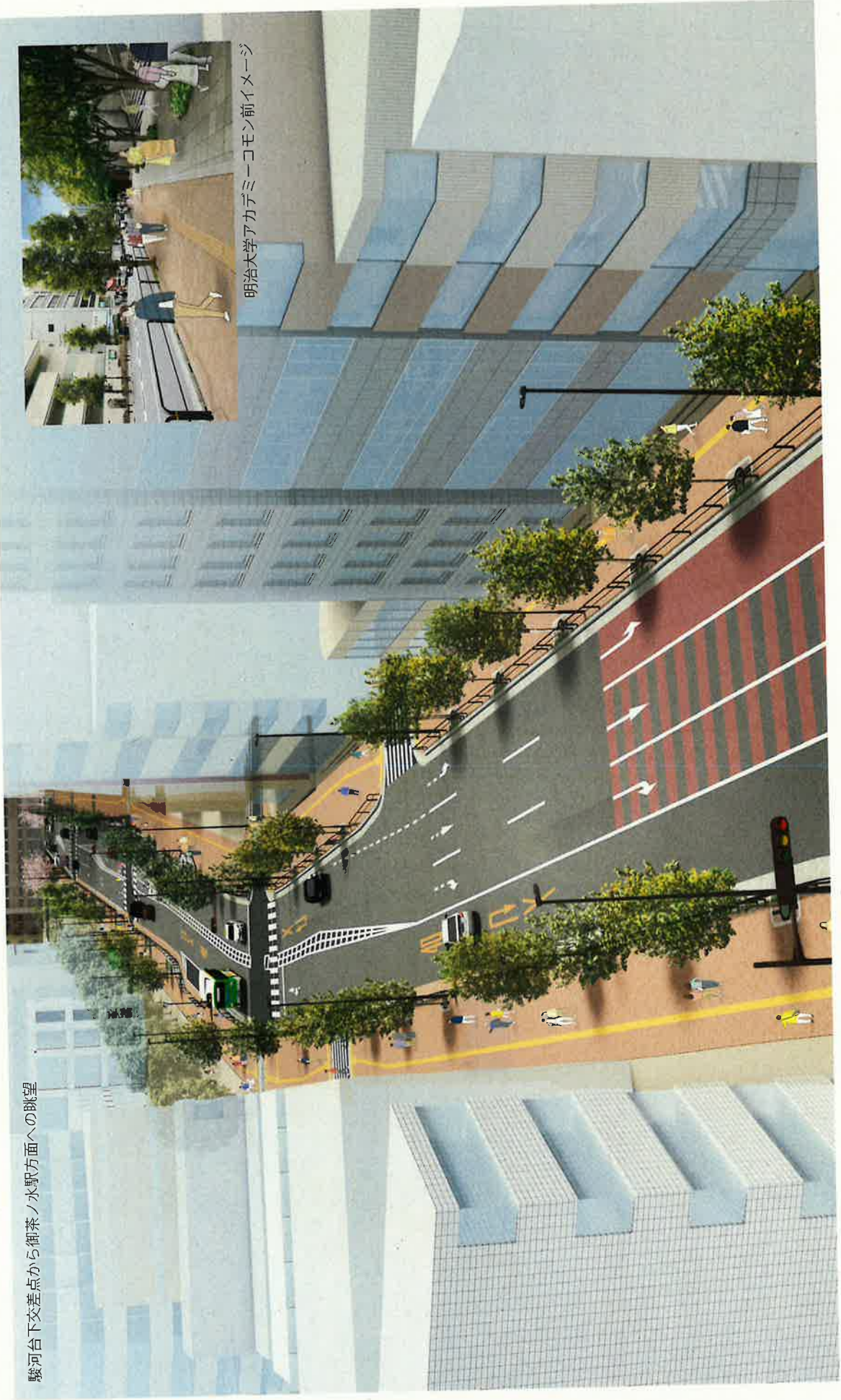
(5)イメージパース図(1)



御茶ノ水駅から駿河台下交差点方面への眺望

(5) イメージパース図 (2)

駿河台下交差点から御茶ノ水駅方面への眺望



明治大学アカデミーコミュニケーションイメージ

